

## (6) サヤインゲン

### 主要病害虫別防除方法

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
モザイク病 (PSV、BYMV、 BCMV、CMVマ メ科系統)	<p>①健全株から取った種子を使用する。          ②ほ場周辺の除草を行い、伝染源を絶つ。          ③発病株を早期発見し除去する。</p> <p>【参考事項】          病原ウイルスは、アブラムシ類によって伝搬されるほか、種子伝染するものもある(ウイルス病の伝染方法の項参照)。</p>	①アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。
炭疽病 ( <i>Colletotrichum</i> )	<p>①無病株の健全莢から採種する。          ②発病株は早期に除去する。          ③常発地では連作を避ける。</p> <p>【参考事項】          初夏に雨の多い年は発生が多い。</p>	<p>①種子消毒を行う(野菜種子の消毒の項参照)。          ②発生初期から農薬散布する          (例)          マンデストロビン水和剤(スクレアフロアブル)(豆類(未成熟、ただし、さやえんどうを除く))          ピリベンカルブ水和剤(ファンタジスタ顆粒水和剤)</p>
苗立枯病 ( <i>Pythium</i> )	<p>①土壤を還元状態にして太陽熱消毒を行う(土壤病害虫の防除法の項参照)。</p>	①種子消毒を行う(野菜種子の消毒の項参照)。
根腐病、萎凋 病 ( <i>Fusarium</i> )	<p>①土壤を還元状態にして太陽熱消毒を行う(土壤病害虫の防除法の項参照)。</p> <p>【参考事項】          主として厚膜胞子の形で、土壤中に4~5年以上生存する。</p>	<p>①種子消毒を行う(野菜種子の消毒の項参照)。          ②土壤消毒を行う。          (例)          クロルピクリンくん蒸剤(クロールピクリン(根腐病)、クロピクフロー(萎凋病))</p>
葉腐病、リゾ クトニア根 腐病 ( <i>Rhizoctonia</i> )	<p>①土壤を還元状態にして太陽熱消毒を行う(土壤病害虫の防除法の項参照)。</p>	<p>①種子消毒を行う(野菜種子の消毒の項参照)。          ②土壤消毒を行う。          (例)          ダゾメット粉粒剤(ガスターD微粒剤、バスアミド微粒剤)(葉腐病)</p>
アブラムシ 類	<p>①防虫ネットで被覆する。          ②シルバーポリマルチをする。          ③ほ場内又は周辺の雑草を除去する。</p>	<p>①定植時、又は種時に粒剤を植穴土壤混和する。          (例)          イミダクロプリド粒剤(アドマイヤー1粒剤)          ②発生初期から農薬散布する。          (例)          アセタミプリド水溶剤(モスピラン顆粒水溶剤)          ジノテフラン水溶剤(アルバリン顆粒水溶剤、スタークル顆粒水溶剤)          チアメトキサム水溶剤(アクタラ顆粒水溶剤)          フロニカミド水和剤(ウララDF)</p>